

高齢者施設一斉巡回 各施設の取組状況

参考となる取組

【職員の健康管理】

予防のために訪問介護職員などは2週間ごとにPCR検査を受けることにしている。(⇒検査費用は補助金対象だが、上限あり)

マスクの着用状況(鼻出しマスク・あごマスク等)を職員同士で相互チェックしている。

事務職員が非接触型の体温計で介護職員を検温している。(自己申告だと虚偽報告の可能性があるため)

職員の検温時に、SpO2も測定。

【感染防止対策】

日に二度、手すり等よく触れるものを消毒している。

職員が使用するペンも消毒している。

今年2月の時点から、休憩室の人数制限や会議のリモート開催などを実施している。

特養入居者とデイサービス利用者の動線が交差しないようにしている。
職員についても特養とデイサービスで休憩室を別にしている。

職員が密になりやすい食堂や休憩室を使用禁止にしている。

職員をユニットごとに分け、接触を減らしている。(複数施設で同様の取組あり)

ゴミ箱を足踏み式に変更したり、ペーパータオルを使用している。

【コロナ発生に備えた施設運営体制の強化】

施設独自に「新型コロナウイルス対応マニュアル」を作成し、職員に周知している。

毎日、職員が接触した入居者をチェックしており、陽性者が出た場合の濃厚接触者を絞れるようにしている。

職員が急遽勤務不可となった場合に備えて、各職員ごとに交替勤務待機者を勤務予定表上で設けている。

感染事案が発生した際に手順等をすぐに確認できるよう、施設内シミュレーションで実際に動いてみた様子を動画で記録している。

夜間に発熱した場合を想定したシミュレーションで訓練を実施している。

法人内に「コロナ支援隊」を設けている。

あらかじめ保健所に連絡し、ゾーニングの方法などコロナ発生時の対応について確認してある。

感染症対策の為、常に満床とせず、数部屋空けておく。

【職員への研修】

感染対策のゾーニング等について自ら資料を作成し、施設内で研修を実施している。

ガウン着脱方法の動画を作成し、職員に周知している。

手洗いチェッカーを使い職員が適切に手洗いできているか確認している。

去年からインフルエンザ対策を強化しており、その取り組みを引き続き行っている。
元々の年2回の感染症研修に加え、コロナウイルスに対する研修も行った。

1人1人に消毒液を携行させ、その消費量をチェック(会議で発表)することによって手指衛生を徹底させている。

訓練として、1日防護服を着て勤務するというを行った。

【衛生物資等の活用】

訪問者の体温をチェックする「アラーム機能つき非接触サーモチェッカー」や空気清浄機を導入(県の補助金を活用)

タイミングよく使い捨て手袋を手配したため、しっかり備蓄することができている。

居室用に空気清浄機あり。

玄関に消毒マット及び顔認証式の非接触型検温器を常設。

おそうじロボを導入。

課題、指導事項など

【感染防止対策】

管理人が鼻を出した状態でマスク着用をしていた。⇒適切な着用を指導

職員の手指消毒に一部、次亜塩素酸水を併用している。⇒アルコール消毒とするよう指導

入所者の検温を毎日行っていない。⇒国の通知に従い、毎日検温を行うよう指導

【互助ネットワーク、補助金の活用】

互助ネットワークについて知らなかったため、参加を検討したい。(複数施設で同様)
感染対策補助金についても把握していなかった。(複数施設で同様)
⇒情報提供し、利用を促した。

サーモグラフィ(非接触温度計)に補助金を使用できることを知らなかった。
⇒サーモグラフィも補助対象であることを伝えた。

今後こそなえ、補助金(緊急包括支援事業)は全額使っていない。
⇒実際に陽性者が出た場合には、別の補助金(感染症対応かかり増し経費補助金)の対象になることを案内。

在宅の方が入所する際、PCR検査を実施すべきか、検討している。
⇒PCR検査を受ける際も補助金が使えらることを案内。

その他

仮に感染者が発生し、入院できるまで施設内で数日過ごさなければならない場合、個室に施設をして隔離するのは虐待に当たるか？
⇒虐待にはあたらない。ただし、ご家族に説明して承諾を得て行うこと。

4人部屋をカーテンで間仕切りすることで「隔離」と呼べるか？。
⇒「隔離」として考えられるが、物品を共有せず、隔離すべき入居者のケアの順番は最後とすること。

現在症状のある入居者を隔離する部屋がない。

入所者の弁当に使い捨て容器を用いたり、食事会場で対面着座しないようにするなどしているが、入所者はやや寂しそう。

デイサービスの利用者が利用している別のデイサービスで陽性者が出たことが複数回あり、そのたびに濃厚接触者に該当しているかどうか等確認に追われている。

収入面への不安から、体調が悪くても無理して出勤する職員がいる。
⇒職員の健康管理の徹底を依頼。

手袋が品薄で手に入りにくい。⇒全国的に不足している状況で、県からも国に要望している。先般、国から納品があり、市町村を通じて配布している。

クラスター発生施設の体験談を聞きたい(知りたい)との要望あり。

入居者は、デイサービスに通っているので感染の危険性は大きい。

入居者の外出について、対応をどうすべきか悩んでいる。

コロナ発生に備えて、あらかじめゾーニングのパターンをシミュレーションしたいが、専門知識のある職員がいない。保健所に指導してもらいたいが、それどころではないだろうから悩ましい。
⇒感染管理認定看護師派遣事業を紹介

認知症の利用者について、マスク着用の徹底は難しく、マスクをしている姿の職員を怖がることもあり、その対応に苦慮している。